

慰霊の集い 実行委発足

三ヶ日 ボート事故1年を前に

浜松市の浜名湖で野外教育活動中のボートが転覆し、愛知県豊橋市草南中学校一年の西野花菜さん(当時二〇)が死亡した事故から一年を迎える来月、活動を受け入れた県立三ヶ日青年の家で開く「慰霊と安全のつどい」(仮称)に向け、静岡県教委や豊橋市教委による実行委員会が十日、発足した。この日の会合ではつどいは来月二十六日に開き、西野さんの両親の願いに沿って進めていくことなどを申し合わせた。

少女の座像の慰霊像も新たに設置し、除幕する予定。実行委は、県教委と市教委、同施設指定管理者で構成し、安倍徹・県教育長を委員長に決めた。

会合には、加藤正俊・豊橋市教育長や草南中の合川嘉信校長ら約十人が出席。安倍・県教育長が西野さんの両親から、▽堅苦しくなつた名前の前▽子どもたちが未来に羽ばたける明るいもの▽多くの人に親しんでもらえるもの一の三つの願いがあったことを紹介。委員らは「花菜さんの

の見える屋外はどうか」などの意見が出た。
また、安倍・県教育長は、安全対策について「まだ検討中であるところからの報告を踏まえて最終的なマニュアルを作らないといけないと考えている」と話した。事務局での協議後、来月中旬に再度委員会を開く予定。

浜名湖・中1 ボート転覆

浜名湖（浜松市）で昨年6月18日に起きた愛知県豊橋市立章南中学校1年生の手こぎボート転覆事故の「慰霊と安全のつどい」が6月26日、生徒が宿泊していた静岡県立三ヶ日青年の家（同市北区）で開かれる。

浜松・青年の家で

慰霊のつどい 来月開催

同県教委、豊橋市教委などで作る実行委員会が10日、青年の家で初会合を開き概要を決めた。当日は、亡くなった西野花菜さん（当時12歳）の追悼、慰霊と事故再発防止

故西野さんイメージのブロンズ像も

100人規模の集会になる見込みで、正式名称や式次第などの詳細を今後決めていく。

【沢田均】



西野花菜さんの冥福を祈り、黙とうする出席者—10日午前10時ごろ、浜松市北区の県立三ヶ日青年の家

5/10(水) 静岡(夕刊)

浜名湖・ボート転覆事故1年

「慰霊のつどい」準備

実行委発足

浜名湖で昨年6月、県立三ヶ日青年の家（浜松市北区三ヶ日町）のボートが転覆して豊橋市立章南中1年の西野花菜さん（当時12歳）が死亡した事故から1年を迎えるにあたり、県教委などは10日、追悼と事故再発防止の誓いを新たにす「慰霊と安全のつどい」の開催に向けて実行委員会を発足させた。つどいは6月26日に三ヶ日青年の家で開催する。慰霊と再発防止に向けて設置する少女のブロンズ像の除幕などを行う。三ヶ日青年の家で開かれた実行委の初会合には、県教委や豊橋市教委、青年の家の関係者約10人が出席した。安倍徹県教育長が「参加者に親しまれ、子どもが未来に羽ばたけるような」式典になるよう遺族から要望を受けていることを伝え、「冥福を祈り、命の大切さや安全を再確認する日になりたい」と述べた。

事故は2010年6月18日に発生した。荒天の浜名湖で章南中の生徒ら20人が乗ったボートがえい航中に転覆し、西野さんが死亡した。細江署は業務上過失致死容疑で捜査を続け、国交省の運輸安全委員会が事故原因を調査している。県教委や青年の家は、再発防止に向けたマニュアル作成などに取り組んでいる。